

国分寺市にふるさとをつくる会

250号 令和5年1月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 岡本 浜夫

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 3-7-8

TEL: 090-6937-8070 fax: 042-325-7616

E-mail: hatamatu@mint.ocn.ne.jp

令和5年の新春を迎え

国分寺市にふるさとをつくる会
理事長 岡本浜夫

明けましておめでとうございます。

新春令和5年を迎え、会員・ご家族皆様方には心に秘めた「今年こそは!!」という願いが実現されます様、お祈り申し上げます。(※ 毎年の願い事が実現せぬまま歳を重ねた自身の戒めですが…)

さて、令和4年も「ふるさとの会」発行の“会報”をご購読いただき有り難うございました。

昨年6月白木理事長より引き継いだ職責ですが、前理事長のご教導と適切なお助言なくして「会」の運営・継続は覚束なかったのではと、前理事長に御礼と感謝を申し上げます。

今後とも、ご購読者皆さん方の声を尊重し、より一層紙面の充実を図り、少しでも読み易く、親しみ易く、そして的確・有益な情報が届けられる様、努力させていただく所存でございます。

未だ新型コロナウイルス感染症の現状は終息することなく、今秋以降、微増傾向が見られますが、政府は新たな行動制限は設けず、社会経済活動を維持しながら、高齢者等を守る事を重点に置いた感染拡大の防止方針としております。

我々国民は、人が集まり、換気が悪い場所や人混みの中では「新生活様式」を遵守し、不特定多数の人との接触リスクを避ける事を心掛け、「自身の健康は自らで」ということを基本に、一日も早い平穏で穏やかな日常を取り戻しましょう。皆様方におかれましては、ご体調に十分留意され、益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

終わりに、今年も従前にも増し、「ふるさとの会」への会員皆様方の温かいご指導ご鞭撻を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

<令和5年> 1月行事予定

- 9日(月・祝)防災推進の街づくり
仲間の会井戸端会議
9:30 室内プール前井戸
- 11日(水)森の自然塾運営会議
9:30 恋ヶ窪公民館
- 14日(土)ふるさとの会合同幹部会議
14:00 恋ヶ窪公民館
- 15日(日)森の自然塾
9:30 エックス山中央集合
- 21日(土)日吉町町内会定例会
13:30 日吉フードセンター
- 22日(日)防災推進の街づくり仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 22日(日)姿見の池ホテルの会
作業: 9:30 姿見の池
会議: 14:00 恋ヶ窪公民館
- 30日(月)会報配布準備
13:30 恋ヶ窪公民館
- 30日(月)多摩に歩く会会議
14:00 恋ヶ窪公民館



武藤正美さん国分寺市表彰受賞 防災推進の街づくり仲間の会 代表 荒川隆二
NPO 法人国分寺市にふるさとをつくる会の相談役で、防災推進の街づくり仲間の会の監査役である武藤正美さんが、長年の防災功労により令和4年度国分寺市表彰を受賞いたしました。武藤さんは会社を定年退職後、国分寺市民防災まちづくり学校を受講し国分寺市民防災推進委員に任命されました。その後、国分寺市民防災推進委員会の事務局長、副委員長を歴任し、25年以上にわたって国分寺市の防災・減災活動に尽力されてまいりました。現在も防災推進の街づくり仲間の会の先輩として、室内プール前井戸・井戸端会議や定例会議に積極的に参加され指導いただいております。(参照:市報令和4年11月15日・No.1435)

※写真上段:被表彰者 武藤正美氏、下段:表彰状 国分寺市長

「森の自然塾」のお知らせ

日時:1月15日(日)

場所:第九小学校 理科室(上履きを持ってきてください)

集合:X山(いつものとおり)

プログラムA「木や草の冬ごし」木や草は、

寒さに負けないように、どんなことを

しているのかな?(お話と観察)

プログラムB「どんぐりの工作」どんぐりトロをつくります。



実施担当 二瓶文博



『クリスマスリース作り』

森の自然塾 富村隆子

例年 12月 は自然素材を使ってクリスマスリースを作ります。
先ず メインの材料となるマツボックリ（松・ヒマラヤスギ）がどのようにして出来るか？お勉強です。

今回初めての試みとして、プロゼクター使用による解説を行いました。
1年生から3年生までの知識に差のある子供たちに、どうすれば興味を持って理解を得られるか？いつも悩みの種です。

しかし 子供たちは熱心に映像を観、話を聞いて、理解出来たようでした。

次のプログラムはお楽しみのリース作りです。

スタッフの協力で、量・質ともに豊富な材料が準備されました。

松ぼっくりやドングリの他 ヒイラギ・ヒノキなどの緑。野バラの実・ガマズミ・ゴンズイ・ナンテンなどの赤。ツバキ・茶の実など十数種類の植物がテーブルに並びました。その中からそれぞれのイメージに合った材料を選び、制作に熱中しました。そして 個性的で素晴らしい作品の完成です。担当者としては最も幸せな時間です。

最後に全員で作品を発表し合って、今年の森の自然塾を終了しました。



『立川防災館研修会の実施』

防災推進の街づくり仲間の会 代表 荒川 隆二

11月21日（月）参加者15名にて立川防災館での防災研修会に行きました。当日は4つの項目を研修いたしました。内容は地震体験、応急救護体験（AED）、救出救助体験、VR防災体験です。地震体験は、従来の震度7クラスの地震を体験するだけでなく、大きな地震が発生した際に、避難するまでの4つの行動を実施するよう指導を受けました。まず、身の安全を確保する。次に火の元を確認する。次に避難出口を確保する。最後に電気のブレーカーをおとしてから避難する事でした。

応急救護体験（AED）では先の韓国でのハロウィンにおける転倒死亡事故のニュースを見て、韓国では多くの一般の人びとが心肺蘇生処置を実施しており、日本でどれだけ同じようなことができるのか感じながら、みな真剣に取り組みました。VR防災体験では家の台所からの出火の際に処置対応の間違いにより大きな火災となる体験と、地震による家具の固定ができていない家での埋もれる体験をいたしました。講師によると団体の中で何人かは気分が悪くなる人が出るとのことですが、みな楽しんで体験しておりました。2時間の研修でしたが、1年に1度はこのような研修が必要であることを感じました。

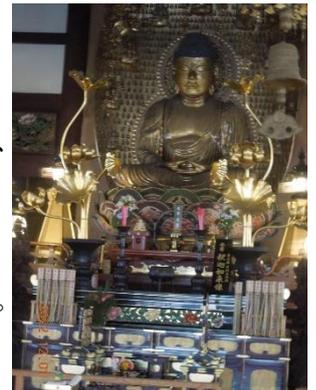


“等々力溪谷を歩く”

多摩に歩く会 会員 村山知恵

12月1日は朝からどんより曇っており、時折冷たい雨が舞う日でした。こんな日にはもしかしたら中止になるかもしれないと、少し心配していたのですが、西国分寺駅には35名集まり賑やかに出発となりました。九品仏に着くと、奥に九品仏浄真寺の山門が見えてきました。

その山門が額縁のようになり、そこから銀杏の黄金色、紅葉の紅、どっしり高い深緑の大きな木々の色が額縁からはみ出んばかりに輝いていました。そして私たちが山門をくぐったとたん、銀杏や紅葉、つげの木、常緑の大木が、きらきら輝き思い切りのびをして、どうだ見たか自然の美しさをとっているみたいでした。彼等の今年最後のお祭りだったのでしょうか。浄真寺をでると私たちはふたたび電車に乗り、等々力駅で降りて等々力溪谷を歩きました。大野さんから何と武蔵野台地の礫層から湧き出す水によって谷沢川となり、等々力溪谷には30箇所以上の湧水が谷沢川に流れ込んでいると説明を受け、その透き通った水の流りに感動しました。昼食のために日本庭園に行き、その後は谷沢川と丸子川の合流を観察、多摩川河川敷をでて、二子玉川駅から戻りました。晩秋を満喫した一日でした。



環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します

 **リオン株式会社**

<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します

自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441

国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

私たちは木を森を自然を
大切にしています。

Environment Conscious
R&D for the Future

企業紹介はこちら
(株)日立製作所
中央研究所 →



HITACHI
Inspire the Next

ホームページ
国分寺市に
ふるさとを作る会

